科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER71 1A6 English Reading			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 布施　将夫		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金4	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

アメリカの著名な歴史家ダニエル・J・ブアスティンの著作『The Discoverers』を読み、CDでリスニングをしていく。アメリカ史学史の位置付けでは、コンセンサス学派の一人とされるブアスティンの手になる本書は、複数の偉人の人生を、各章で簡潔に紹介したものである。本書を味読することで、学生には、今後の人生の方針を考えて欲しい。

そして、博識なブアスティンの論理的な英語を読み親しみ、聞きなれることは、学問的な英語の読解能力やリスニング能力を高めることにもなる（演習形式）。

[到達目標]

アカデミックな英語の文章を、構造的に理解・把握できるようになる。その結果、英語の長文を簡潔、かつ迅速に説明できるようになる。

[授業計画と内容]

この授業では、論理的で緻密な洋書の伝記を読み聞きして、さまざまな偉人の人生をどう捉えるかを考えていく。なお、親しみやすい近代の人物から取り扱う。

第一回、オリエンテーション（授業の進め方や評価方法の説明）
第二－第七回、第5章のハインリッヒ・シュリーマンを読む
第八回、小テストとまとめ、もしくはCD試聴
第九回、シュリーマンの章をリスニング、もしくは読み残しを読了する
第十－第十四回、第4章のアイザック・ニュートンを読む（余裕あればリスニング）
第十五回、期末試験
第十六回、フィードバック

なるべく自力で英文の論理の読解に努めてもらうため、一回の授業で四人くらい口頭で発表してもらう。一定量の英文（未定だが、たとえば一人半ページ）を、英文を読んでから翻訳し、各段落の要点を簡潔にまとめてもらう。

発表担当者以外の方も、一回の授業分を見越して予習しておくこと。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

英語リーディング ER71(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER71(2)

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。
平常点（授業への積極的参加）10%、口頭発表15%、小テスト25%、期末試験50%。
（もし万一、小テストが不可能な場合、期末レポート75%に変更。）

[教科書]

Daniel J. Boorstin 『The Discoverers』（Kinseido）ISBN:978-4-7647-0501-2

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

なるべく自力で英文の論理の読解に努めてもらうため、一回の授業で四人くらい口頭で発表してもらう。発表者には、授業中に一定量の英文（未定だが、たとえば一人半ページ）を翻訳し、各段落の要点を簡潔にまとめてもらう。
発表担当者以外の方も、前回の授業内容を復習しつつ、一回の授業分を見越して予習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]